

モールテックスの仕上がりについて

- 1 モールテックスはあくまで仕上げ材です。基本配合ときちんとした施工をしていただけると防水機能を発揮します。ただ、防水材ではありませんので、モールテックスの施工を防水工事としては捉えないでください。
- 2 モールテックスのカラーチャートは参考として認識ください。顔料の配合などはレシピがありますが、当日の現場の温度、湿度、風の通り具合など現場環境によってその色味は変わるものだとご理解ください。モールテックスは、カラーチャートやサンプルなどと全く同じ色味に仕上がるものではありません。
- 3 モールテックスは基本汚れます。強度や割れにくいという機能とは別で、使用していく中で汚れていきます。この汚れを付けない為に施工するのが保護材です。ただ保護材も汚れが100%つかないものではありません。汚れがつくのを遅らせるというものだとご理解ください。その後のお手入れをするということも念頭にモールテックスをご検討ください。
- 4 モールテックスは、その成分からアルカリを有し、水分などと反応し、白華を起こします。強度や耐久力を貶めるものではありません。ただ美観を損なう可能性もあります。仕上がった後の水洗いを繰り返すことを強くオススメします。そこで白華の原因となるアルカリ成分をきちんと抜いておくことが後々の白華現象を抑えることに繋がります。(汚れ防止にも有効です。)
- 5 モールテックスはコンクリートより強度があり、割れにくい材料となっております。ただし、下地の構造的な動きからくる力はモールテックスで止めることができません。よって、下地の影響によりひび割れを生じることがあります。

最後に

以上、モールテックスを扱う際の代表的な注意点を簡単にまとめました。こちらをご依頼主にご説明いただき、ご納得いただいた上でご使用いただくことをオススメします。

モールテックスは手順通り仕上げることであれば、その仕上がりを永年楽しんでいただけるものだと思っております。その素晴らしさをご提供できるようにメーカーともども材料についての開発や施工技術の更新に日々精進しておりますので、不安点や疑問点などありましたら、弊社までご相談くださいませ。微力ながら現場施工へのお力添えをさせていただきます。何卒モールテックスをよろしく願いいたします。



サカンアート店長 神野雄二より